

自然環境整備計画の目標、計画期間及び整備方針

都道府県名	広島県	個別地域	比婆道後帝釈国定公園：中国自然歩道線道路(歩道)事業
-------	-----	------	----------------------------

計画期間	平成 25 年度 ~ 平成 28 年度
------	---------------------

目標

安全対策の実施と、老朽化した施設の再整備により、利用者が安心して利用できる空間を目指す。

目標設定の根拠

個別地域の現状

・このルートは、比婆道後帝釈国定公園の帝釈峡地区内をとり、比婆山地区を通過して島根県境まで通じる歩道である。特に名勝帝釈峡沿いと比婆山地区の中心部は自然豊かな場所であり、利用者も多い。
 ・神龍湖から上帝釈に抜けるルートは、神石高原町側が落石、橋梁基礎のひび割れ等で従来の路線が通行止めとなり、現在は迂回路が設置されているが、利用者が減少している。

課題

・帝釈峡沿いには落石の可能性や、路肩がもろくなり危険な箇所が存在する。
 ・地区内の施設は老朽化していることに加え、仕様自体も古くなっており、景観や利用者のニーズにマッチしているとは言いがたい。これらの再整備に当たっては、その仕様、デザイン等に留意し、環境にやさしい施設を再構築する必要がある。

個別地域の整備方針

・危険な箇所を見極めながら安全対策を実施する。
 ・老朽化した施設(休憩所、トイレ)については、利用者のニーズと整合するよう景観に配慮しながら再整備を行う。

方針に沿った主要な事業

・歩道整備(県)
 ・トイレ、休憩所再整備(県)

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
						基準年度	目標年度
帝釈峡利用者数	人/年	帝釈峡の利用者数	利用状況調査	帝釈峡地区施設整備による利用促進指標とし、現行より5%程度の利用者の増加を目指す。	181,500	H25	H30

その他必要な事項